

1. 開成駅周辺地域の安全対策及び利便性の向上は

本年3月16日から開成駅に急行電車が、停車するようになった。

以降、8ヶ月余りが経過し、乗降客数は増加し続けている。

町長は、三期目の公約で「南部地域は、県西地域の副次拠点として魅力ある取り組みをしていく」と述べられているが、そのために現在どのように対処しているのか、また、今後どのように取り組まれていくのかが見えない。

開成駅は、「急行が停まって大変便利になった。」という声がある一方で、「朝夕の通勤、通学の時間帯に送迎用の車の混雑が激しい。特に雨天時は交錯して危険だ。」という声を聞く。

開成駅が急行停車駅になったことで、利便性が向上し、駅機能や駅周辺の都市機能の充実により、副次拠点となることが望まれるが、まずはそこに暮らす人々の安全安心を最優先に考えた施策を講ずべきと考える。駅前通り線の早期開通が望まれるが、開成駅周辺地域の安全対策及び利便性の向上を喫緊の課題として対策を講ずべきと考え、次の事項を問う。

- ① 通勤・通学時間帯における駅前ロータリーの安全対策は。
- ② 開成駅周辺道路の交差点における安全対策は。
- ③ 新規バス路線導入の進捗状況は。